

令和3年度 佐久市総合計画審議会第1部会（第5回） 会議録

日時：令和3年11月5日（金）

午後2時00分～

場所：中込会館2階会議室1

【出席者】井出部会長、柴平副部会長、堀内委員、伊坂委員、石山委員、竹内委員、小畑委員、木内委員

以上8名

【事務局】若林企画課長、木下企画調整係長、金澤主任、小林主任、大井主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（桃井委員、加藤委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案について

質疑、意見

事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《防災》について説明
委員	地球温暖化の緊急事態宣言が各市などで出されているが、具体的に台風19号のような災害に備えて何をしておくか。今見ると新たな取組が見えてこない。P94にハザードマップの記載があるが、私の住んでいる地域の近くに浸水地域に太陽光パネルが設置されている所があり、危機管理課に浸水した時にどう対処するのか聞いた。なかなか危機管理課だけでは対処できないので、もう少し横断的に全体で何をやるか考えてほしい。それからソフト面で大事なものは、地域での声かけや助け合い。P95に「より実践的な防災訓練」と記載があるが、何が具体的にできるか要支援者への対応や福祉部門も連携してソフト面を充実してもらいたい。
事務局	前期の取組からどう変わったのかが見える形に修正したい。台風19号の反省を受けてどう踏み込んだのかを再度整理したい。

委員	千曲川水系について、支流の数が多く見直すべき箇所がある。総花的ではなく、いかに計画に盛り込んでいくのか。防災意識の向上とあるが、市民に危機意識が伝わっていない気がする。市としてもアピールしてほしい。
委員	細かいところまで書いていない。一般の人でも分かる様な文章を書いてほしい。
事務局	総合計画は細かいところまで記載できないところがあるが、ポイントとなるところは市民にわかりやすく説明できるように担当課とも調整したい。
委員	広報など別の形で出してほしい。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《消防・救急》について説明
委員	消防団に入ってくれる人が少ない。入るのにハードルが高いのではないか。特定の人だけが入れる消防団ではなく、時代に合った質や中身を後期基本計画の5年の中で、消防団任せにしないで考えて頂きたい。
事務局	以前から消防団の担い手確保は各地域の課題となっている。国でも消防団員の報酬を上げたりするなどの対策を講じてきているので、できるだけ市としてできる支援をしっかりとしながら団員を確保できるようにしたい。またご意見があれば頂きたい。
委員	消防団員は何歳まで入れるのか。年齢制限がないのなら、消防団の活動の6~8割は広報活動だと思うので、高齢者の加入の働きかけも必要ではないか。
委員	P97(1)の2つ目について、消防車両の配備とあるが、新しい車両を配備しても運転できる団員がいない事がある。時代に即した消防車両や施設の配備をしてほしい。

委員	若い人は、中型車は別に免許をとらないといけない。免許取得のために補助を出すような体制をとらなければ維持できない。
委員	2000 万からする消防車両を配備する場合、佐久市は 500 万しか補助してくれない。私の地区では、自治会からの寄付を消防団に渡して活動している。今はホースをつなげなくてもタンク車で消火できる。寄付を減らしてもらってもよいと言われて困っている。
事務局	時代に即した形の中で見守って頂きたい。
	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《交通安全》について説明
委員	通学路の危険箇所のチェックを安協や警察が行っているが、今までの縦割りのやり方の延長ではなく、踏み込んだ形で取組を進めてほしい。
事務局	担当課へ伝えたい。
	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《防犯》について説明
委員	防犯カメラの記載がないが、どうなっているのか。
事務局	小学校、保育所、児童館は防犯カメラを設置する方向で進んでいる。一方、公園や道路については、不特定多数が利用しプライバシーの保護が必要になってくる。市の中で設置基準の議論まで至っていない。
委員	20 年位前まではプライバシーの意識が高かった。しかし最近ではプライバシーよりも防犯に重きが置かれている風潮。プライバシーを気にしすぎると何もできなくなるのではないかと心配。
委員	総合計画という位置づけなので、防犯灯から防犯カメラ設置へ移行を考えて頂きたい。

事務局	<p>内部でしっかり検討致したい。</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《消費生活》について説明</p> <p>—質疑、意見等なし—</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《市民協働・参加》について説明</p>
委員	<p>先日佐久市の HP に掲載されていた佐久市協働のまちづくり計画の骨子案を見た。良かった点は、「誰もが気軽に参加でき、情報や意見を交換できる住民主体の対話の場をそれぞれの地域の実情に合わせて設け、人や団体同士がつながり課題や目標を共有する」と記載があった点。総合計画の下部計画になると思うが、これからの時代多くの市民がどうやったら参加できるのか足がかりを作っていくのがこの分野で大事な事だと思う。総合計画ではあまり触れていないので、市民が参加できる具体的な取組を協働のまちづくり計画の骨子案と共通した事を入れて頂きたい。</p>
事務局	<p>企画課の担当と調整したい。</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《地域コミュニティ》について説明</p>
委員	<p>市民サポートセンターは野沢会館にあるが、これを作るとき望月地区にも出張所を設けてくれるという話だったが頓挫している。望月は過疎化してしまっていて、支所も機能していなくて困っている。野沢のサポートセンターは住民同士の交流などの活動をしているのか。</p>
事務局	<p>施設を設けるかどうかはわからないが、地域の住民が集まって地域の事を話し合う機会ができるとういと思っているので、見守って頂きたい。</p>
委員	<p>合併して約 17 年経ち、旧望月、臼田、浅科、浅間、中込…それ</p>

	<p>ぞれ地区があるが、様々な課題がある。各地区の掘り下げた現状と課題、今後の要望を次の総合計画の前にはまとめてほしい。前回の部会で小学校も統合したら子どもの数がすごく減少してしまい、スクールバスで通っているのに課外活動に参加しづらいという話があったが、他にも課題がたくさんあると思う。地域ごとに集まって意見を出し合いながら共有して、住民で変えていけることはやっていけるようなものを作ってほしい。浅間地区も佐久平中心に発展をしていい面もあるが、課題があると感じている。もっと掘り下げたものを総合計画の中に位置づけてほしい。</p> <p>事務局</p> <p>色々なご意見を頂いて反映できるような仕組みを作っていきたいと考えている。人口が減少する中、地域コミュニティがどういうあり方になっていくのかしっかり考えていきたい。</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《行財政経営》について説明</p> <p>—質疑、意見等なし—</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《高度情報通信ネットワーク》について説明</p> <p>委員</p> <p>高齢者中心にデジタル化に飛び込めない人がいる。その辺をどんな風に緩和していくのか。置いていかれてしまっただうすればいいのかという思いがある。</p> <p>事務局</p> <p>行政が格差是正に対応していかなければならないという中で、来年度以降相談窓口を設けたりして、多くの人達がデジタル社会を享受できる形にしていきたい。</p> <p>委員</p> <p>区長はスマホを持っているが、タブレットに移行していくのではないかと感じている。もし移行するのならば、使えるように勉強会など指導できる体制を考えて頂きたい。</p> <p>第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《地域間交流・国際交流》について説明</p>
--	--

委員	「希望をかなえ選ばれるまち」の意味がわからない。佐久市は何を特徴としているのか。自慢できることがたくさんあると思う。いずれ外国人がたくさん来る時代が訪れると思うので、いいものをピックアップして見えるようにしてほしい。
事務局	暮らしやすくて住みやすいという所が特長だと思うので、力を入れていきたい。
委員	望月に資料館があるが有料。無料にすることはできないか。
事務局	担当課へ伝えたい。
委員	定住の関係で、軽井沢はコロナの影響で増えていると聞いているが佐久市はそういう動きはないか。
事務局	社会増減では、平成 27 年頃から年平均 250 人以上増えている。合併後は約 100 人プラスできている。佐久市にどういう人たちが移住しているかと市で分析したら、軽井沢から来ている人が多い。
委員	市の関係で、中込の病院に多数の外国人が来る。市のルールも教えてほしい。ゴミ出しひとつにしても必ずトラブルになる。区との接点も持てるような形で国際交流を進めてほしい。
委員	外国人に対してどのくらい情報を発信しているのか。
事務局	頻度を問われると答えられない。市のルールについては、何か国語かでパンフレットを作成している。外国人の場合、市の移住窓口を介して移住するとも限らないので把握が難しい。求められれば伝えられる情報はある。
委員	日本語教室でルールを教える取組をしてもいいかもしれない。防災については、外国人には情報が届いてないのではないか。
事務局	そんなことはないと思うが、防災マップが多言語化されているかは不明。担当課ともしっかり調整したい。

委員	外国人と親しく接したいと思っても、身構えてしまう。あるアパートの住民は区民ではないので、広報も届かないし孤立してしまっ て身構えてしまう。そのような状況を解消する方法があればよいと 思う。
委員	国際交流フェスティバルも新型コロナで開催できていない。観光 課でもコミュニケーションをとる方法を模索していると思うのだ が。
事務局	第二次佐久市総合計画後期基本計画の骨子案《広域連携》につい て説明 —質疑、意見等なし—

(2) その他

質疑、意見

副部会長	その他について、事務局から何かあるか。
事務局	次回の開催は、12月3日（金）14時00分からの予定。

3 閉会